



協同労働が法制化される時代 **2018** 全国よい仕事研究交流集会

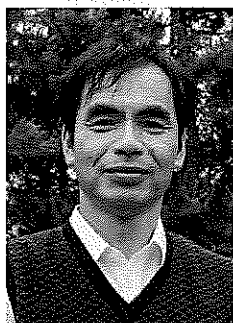
いのちと社会に向き合う協同労働・よい仕事とはなにか、
その深化・発展のプロセスをみんなで考える

新自由主義やグローバル資本主義は、途上国のみならず先進国でも多くの犠牲（格差、貧困、失業、食の安全、環境汚染・破壊等）の上に成り立ち、分断と孤立を広げています。日本を代表する大企業においても不正やデータ改ざんが次々に明るみになり、倫理観を失った経営が体質化をしています。派遣労働や非正規雇用の拡大による労働の劣化など不安と閉塞感が広がるなか、今こそ労働の在り方が社会の中で問われる時代を迎えています。



私たちは、ともにたたくこと・いきること・くらすことをこの間普遍的テーマにし、市民の大きな共感と連帯、そして参加や希望を生み出しています。法制化時代はだれもがいのちと向き合う仕事をおこしていけるようになります。ともに生きる共生社会づくりに向けて、「いのち」と「社会」に向き合う協同労働のよい仕事を深め、持続可能な地域づくりをめざしていきましょう。

記念講演 **ともに生きる世界 — いのちと社会を結んで**



講師 内山 節氏 (うちやま たかし)

プロフィール 1950年東京都世田谷区生まれ
哲学者 前立教大学大学院教授
NPO 法人「森づくりフォーラム」代表理事
1970年頃から、東京と群馬県の山村、上野村との二重生活をしている

主な著作 『文明の災禍』(2011年、新潮新書)、『内山 節のローカリズム原論』(2012年、農文協)、『新・幸福論』(2013年、新潮社)、『内山 節・著作集』(2014年より15年まで、全15巻、農文協)、『半市場経済』(編著書、2015年9月、角川新書)、『いのちの場所』(2015年10月、岩波書店)

3月3日(土) 10:30~17:45 会場：ベルサール秋葉原

全体会 開会挨拶、基調提起、記念講演(内山 節氏)
パネルディスカッション 「いのちと社会に向き合う協同労働・よい仕事とはなにか～その深化・発展のプロセスをみんなで考える～」
映画「ワーカーズII」(仮称) (東北被災地における協同労働の仕事おこしの実践：森康行監督)、ほか

3月4日(日) 10:00~16:30 会場：TKP 品川カンファレンスセンター

分散会 15の分散会に分かれて、全国の協同労働・よい仕事の実践レポートを基に実践を深めます。

申し込み 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 共催：一般社団法人 協同総合研究所
問合せ先 〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル7階 TEL 03-6907-8040 FAX 03-6907-8041
E-Mail rngukism@roukyou.gr.jp ホームページ http://www.roukyou.gr.jp